

中学校生徒の皆さんへ

通知表の結果はあなたの能力の一部を数値化したものにすぎません。ですから、この結果だけをもって一喜一憂する必要はありません。大切なのは、「あなたの力や得意なことが伸びたか、今までできなかったことができるようになったか」です。

あなたの能力や特技は学校の9教科だけでは測れないものもたくさんあります。体型、家庭環境、障害のあるなしに関わらず、人にはそれぞれ必ず、その人ならではの能力があります。その能力を見つけ、最大限伸ばしていくことが、これからの変化の激しい社会を生きていくために、とても大切です。

勉強も大切です。でも、結果にとらわれることなく、分からないことが分かるようになる楽しさや人との関わり方なども学校生活の中で身に付けてください。

後悔のない学校生活にできるのは、あなた自身です。頑張ってもうまくいかない場合もありますが、どんな場面でも「何とかなる、大丈夫!」と自分に言い聞かせてください。決して一人で抱えこまずに信頼できる周りの大人に相談してください。自分の頑張りや考え方、友達との接し方で見える景色は大きく変わるものであり、どういう学校生活にするかを決めるのも決められるのも「あなた」なのです。

保護者の皆さんへ

中学校の通知表は、国の学習指導要領に基づいて、学習のごく一部を評価し、数値化したものです。しかし、子どもの本当の能力や特技は9教科の評定のように単純な数値化はできません。ですので、通知表の評定結果だけを見て、子どもの力のすべてを判断されないようお願いします。大切なのは、子ども自身が持っている本当の力に本人と周りの大人が気づき、その力を伸ばしていくことです。

保護者の中には、偏差値の高い学校への進学や上場企業、いわゆるホワイトカラーの仕事に就くことを願う方もいるかもしれません。もちろん、学ぶことや進学を目指すことは大切です。しかし、日本の終身雇用の在り方が変化し、生成AIの急速な発展によってこれからの仕事の在り方も大きく変わっていくことでしょう。これからの時代に必要なのは、与えられた答えを覚えるだけでなく、自分で考え主体的に行動する力です。そして、コミュニケーション能力、問題解決能力、困難に直面しても、失敗を経験として次に進むことのできる『生きる力』も重要になります。子どもの今の成績だけを見るのではなく、「この子にはどんな力があるのだろう」とぜひ一緒に探していただければと思います。それが、子どもたちのこれからの人生を支える、大きな力になるのだと私は思います。

